

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)

【公開番号】特開 2002-220391 (P2002-220391A)

【公開日】平成 14 年 8 月 9 日 (2002.8.9)

【出願番号】特願 2001-357400 (P2001-357400)

【国際特許分類第 7 版】

C 07 D 491/22

A 61 K 31/475

A 61 P 11/14

A 61 P 25/28

A 61 P 29/00

A 61 P 37/06

A 61 P 43/00

【F I】

C 07 D 491/22

A 61 K 31/475

A 61 P 11/14

A 61 P 25/28

A 61 P 29/00

A 61 P 37/06

A 61 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 10 月 12 日 (2004.10.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

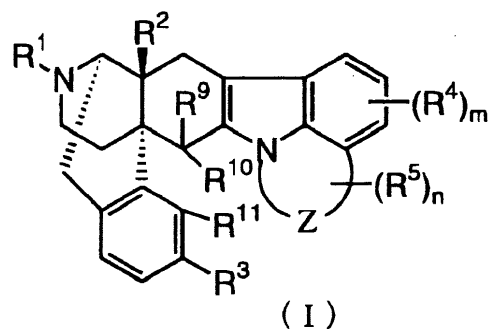
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一般式 (I)

【化 1】



[式中 R^1 は水素、炭素数 1 から 5 のアルキル、炭素数 4 から 7 のシクロアルキルアルキル、炭素数 5 から 7 のシクロアルケニルアルキル、炭素数 6 から 12 のアリール、炭素数 7 から 13 のアラルキル、炭素数 3 から 7 のアルケニル、フラン - 2 - イル - アルキル (

ただしアルキル部の炭素数は 1 から 5 である)、またはチオフェン - 2 - イル - アルキル (ただしアルキル部の炭素数は 1 から 5 である) を表し、
 R^2 は水素、ヒドロキシ、炭素数 1 から 5 のアルコキシ、または炭素数 1 から 5 の脂肪族アシルオキシを表し、
 R^3 は水素、ヒドロキシ、炭素数 2 から 5 のアルコキシ、炭素数 1 から 5 の脂肪族アシルオキシ、または炭素数 7 から 13 のアラルキロキシを表し、
 - Z - は炭素数 2 から 5 の炭素原子からなる架橋を表し、
 m は 0 から 3 の整数を表し、
 n は 0 から 10 の整数を表し、
 m 個の R^4 、n 個の R^5 はそれぞれ別個に、フッ素、塩素、臭素、ヨウ素、ニトロ、炭素数 1 から 5 のアルキル、ヒドロキシ、炭素数 1 から 5 のアルコキシ、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、シアノ、フェニル、イソチオシアナト、 SR^6 、 SOR^6 、 SO_2R^6 、 $(CH_2)_pOR^6$ 、 $(CH_2)_pCO_2R^6$ 、 $SO_2NR^7R^8$ 、 $CONR^7R^8$ 、 $(CH_2)_pNR^7R^8$ 、または $(CH_2)_pN(R^7)COR^8$ (ここで、p は 0 から 5 の整数を表し、 R^6 は水素、または炭素数 1 から 5 のアルキルを表し、 R^7 、 R^8 はそれぞれ別個に水素、炭素数 1 から 5 のアルキル、または炭素数 4 から 7 のシクロアルキルアルキルを表す) を表すか、n 個の R^5 のうち、同一の炭素原子に結合した 2 個の R^5 が一つの酸素原子となってオキシ基を形成するか、または m 個の R^4 、n 個の R^5 のうち、2 つの隣接する R^4 、または 2 つの隣接する R^5 、または R^4 、 R^5 が結合して、ベンゼン縮合環、ピリジン縮合環、シクロペンタン縮合環、シクロヘキサン縮合環、シクロヘプタン縮合環を形成し (ただし、m 個の R^4 、n 個の R^5 のうち少なくとも一つはヒドロキシであるか、または同一の炭素原子に結合した 2 個の R^5 が一つの酸素原子となってオキシ基を形成しなければならない)、
 R^9 は水素、炭素数 1 から 5 のアルキル、炭素数 2 から 5 のアルケニル、炭素数 7 から 13 のアラルキル、炭素数 1 から 3 のヒドロキシアルキル、 $(CH_2)_pOR^6$ 、 $(CH_2)_pCO_2R^6$ (p、 R^6 は前記定義に同じ) を表し、
 R^{10} 、 R^{11} は結合して - O -、- S -、または - CH_2 - を表すか、それぞれ別個に R^{10} は水素、 R^{11} は水素、ヒドロキシ、炭素数 1 から 5 のアルコキシ、または炭素数 1 から 5 の脂肪族アシルオキシを表す] で示されるインドール誘導体、またはその薬理学的に許容される塩。

【請求項 2】

一般式 (I) において、 R^3 が、水素、ヒドロキシ、またはアセトキシである請求項 1 記載のインドール誘導体、またはその薬理学的に許容される塩。

【請求項 3】

一般式 (I) において、 R^1 が炭素数 4 から 7 のシクロアルキルアルキル、炭素数 3 から 7 のアルケニルである請求項 1 記載のインドール誘導体、またはその薬理学的に許容される塩。

【請求項 4】

一般式 (I) において、 R^1 がシクロプロピルメチルである請求項 3 記載のインドール誘導体、またはその薬理学的に許容される塩。

【請求項 5】

一般式 (I) において、 R^1 が水素、炭素数 1 から 5 のアルキル、炭素数 7 から 13 のアラルキル、フラン - 2 - イル - アルキル (ただしアルキル部の炭素数は 1 から 5 である)、またはチオフェン - 2 - イル - アルキル (ただしアルキル部の炭素数は 1 から 5 である) である請求項 1 記載のインドール誘導体、またはその薬理学的に許容される塩。

【請求項 6】

一般式 (I) において、 R^1 が水素、メチル、フェネチル、フラン - 2 - イルエチル、チオフェン - 2 - イルエチルである請求項 5 記載のインドール誘導体、またはその薬理学的に許容される塩。

【請求項 7】

一般式 (I) において、同一の炭素原子に結合した 2 個の R^5 が一つの酸素原子となってオキソ基を形成する請求項 1 記載のインドール誘導体、またはその薬理学的に許容される塩。

【請求項 8】

一般式 (I) において、 m 個の R^4 のうち少なくとも 1 個がヒドロキシである請求項 1 記載のインドール誘導体、またはその薬理学的に許容される塩。

【請求項 9】

一般式 (I) において、 n 個の R^5 のうち少なくとも 1 個がヒドロキシである請求項 1 記載のインドール誘導体、またはその薬理学的に許容される塩。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のインドール誘導体またはその薬理学的に許容される塩からなる医薬。